

令和4年度消防吏員被服の納入（その3） 仕様書

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

総 則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」という。）において調達する令和4年度消防吏員被服の納入（その3）の仕様について適用する。

1 品名及び数量

(1) 制服及び盛夏服関係

品 名	数 量	備 考
制服上着（男性用）	3 着	
制服ズボン（男性用）	3 本	
制服上着（女性用）	2 着	
制服ズボン（女性用）	2 本	
制服スカート（女性用）	2 本	
制 帽（男性用）	3 個	
制 帽（女性用）	2 個	
制服用ベルト	5 本	（紺）
制服用ネクタイ	5 本	（紺）
盛夏服用ベルト	5 本	（青）
盛夏服用ネクタイ	5 本	（青）

(2) 活動服関係

品 名	数 量	備 考
冬活動服	10 組	上衣、ズボン
夏活動服	10 組	上衣、ズボン
活動服用ベルト	5 本	2ピン式

(3) 救急服関係

品 名	数 量	備 考
救急服用ベルト	5 本	

(4) 雨衣及び防寒着関係

品 名	数 量	備 考
雨 衣	5 着	上衣、ズボン
ブルゾン（消防防寒衣）	5 着	
ブルゾン（制服用防寒衣）	5 着	コート型

(5) 階級章関係

階級章（アドバンス）	20 個	（裏マジック付）
------------	------	----------

2 仕様

別紙仕様に合致するもの又は同等以上の性能を有するもの。

3 納入期限

令和5年3月17日（金）

4 試作品の提出

落札者は、10日以内に試作見本を提出し、当局総務課係員の検査を受けること。ただし、消防局長が認める場合には、試作品の提出を行わないことができるものとする。

5 採寸

採寸については、サイズ表による試着ゲージにより、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定するものとする。

ただし、袖丈、ズボンの股下寸法については、サイズ表に示した基準にこだわらず、各人の体型に合わせて仕上げるものとする。

採寸日については令和4年12月26日（月）を予定しているが、契約後別途協議する。

6 検査

検査は、外観検査及び分解検査とし、その経費は一切納入者の負担とすること。

7 納品

製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装のうえ、氏名、サイズが容易に確認できるとともに、職員ごと紙袋等に一括にまとめて収納し、納品すること。

8 納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補正し、又は取替えるものとする。

9 注意事項

- (1) 製作に要する費用は、当初の契約額の通りとする。
- (2) 使用素材は、すべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は、糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製について、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 仕様書の内容を納入者の解釈により勝手に変更してはならない。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

1 制服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 品名、品番

<上着>

〔男性用〕（株）イマジョー製 TX1000

〔女性用〕（株）イマジョー製 TX1020

<ズボン>

〔男性用〕（株）イマジョー製 TX1001

〔女性用〕（株）イマジョー製 TX1022

<スカート>（株）イマジョー製 TX1021CS

2. その他追加仕様

<上着> 男女共通

ア. ステッチ入りとする。

イ. 階級章台は2.5cm×4cmの面ファスナー<ループ面>を縫い付ける。

ウ. 左下衿にフラワーホール<ネムリ穴>を施す。

エ. 土長は銀蛇腹線、司令補は金蛇腹線、司令以上は金蛇腹線の下部に階級毎の消防章を付ける。

<ズボン> 男女共通

ア. ワンタックとする。

イ. 裾仕上げは靴擦れ付きとしすくい縫いにて仕上げる。

3. サイズ表（単位：cm）

<上着>

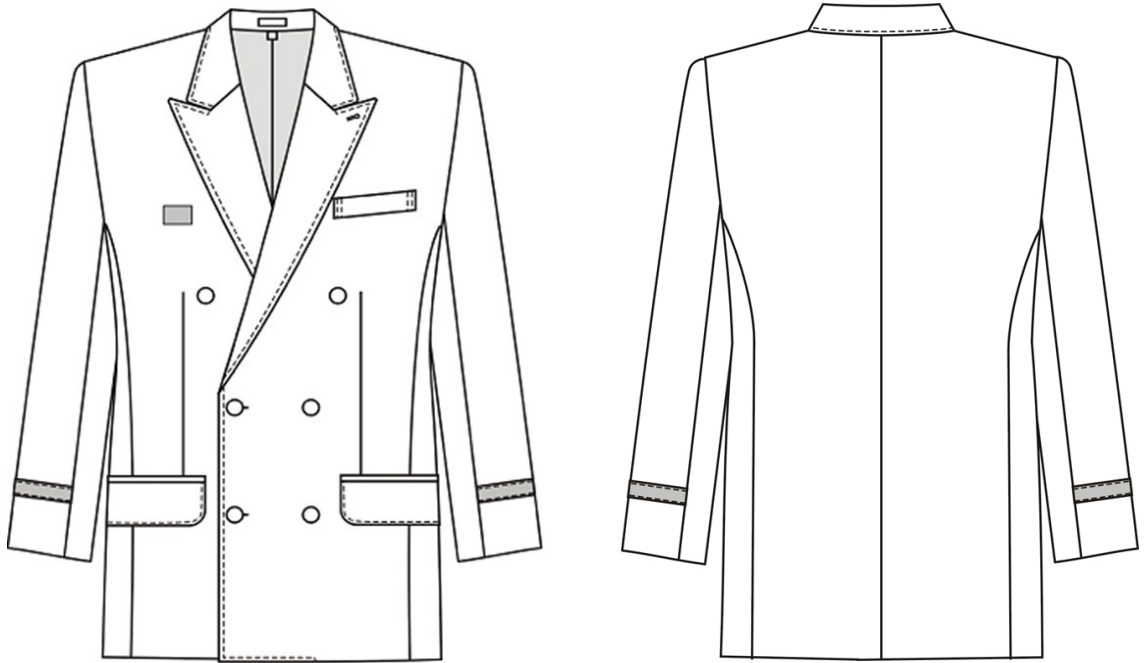
サイズ	胸囲	着丈	肩巾	袖丈
A2	98	69	45	55
A3	103	71	46	56
A4	107	74	47	58
A5	112	76	48	60
A6	117	78	50	62
B2	110	70	47	55
B3	115	72	49	56
B4	120	75	50	58
B5	125	78	51	60
AB4	112	73	47	57

<ズボン>

サイズ	ウエスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

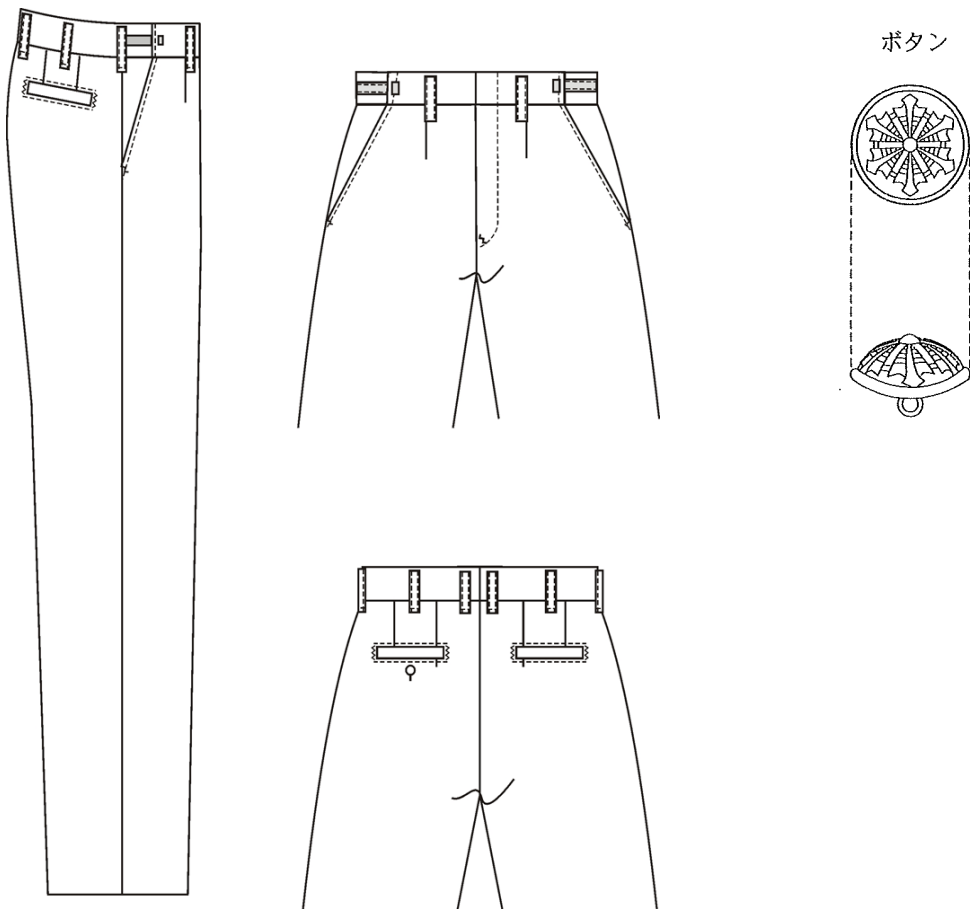
<参考図>

[制服上着 (男性用)]

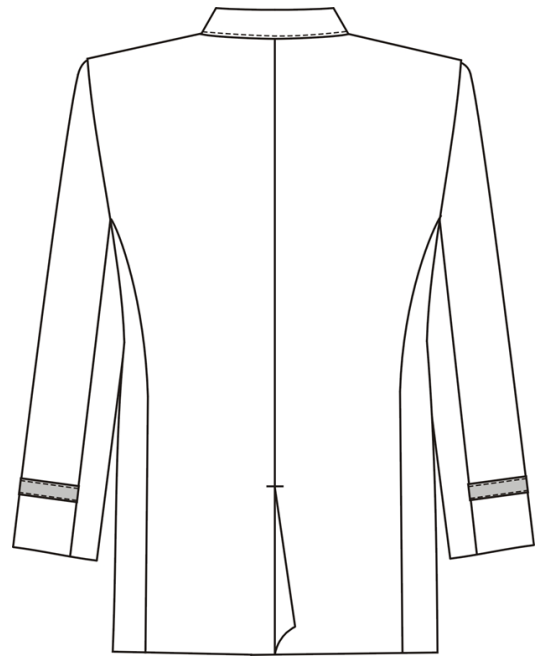
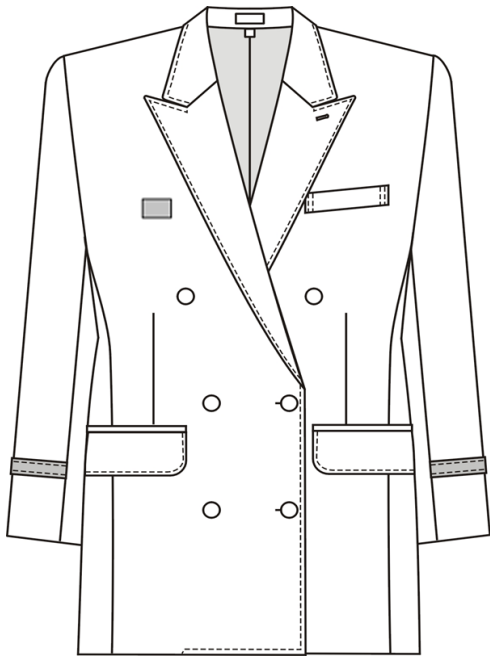


[制服ズボン (男性用)]

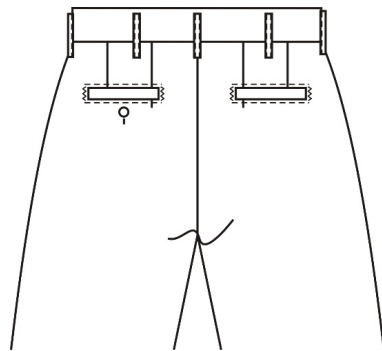
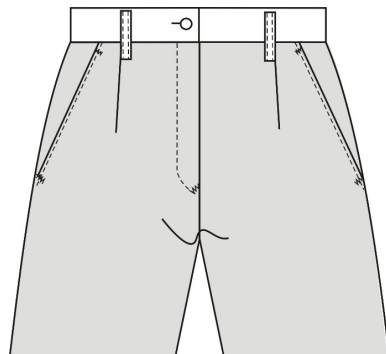
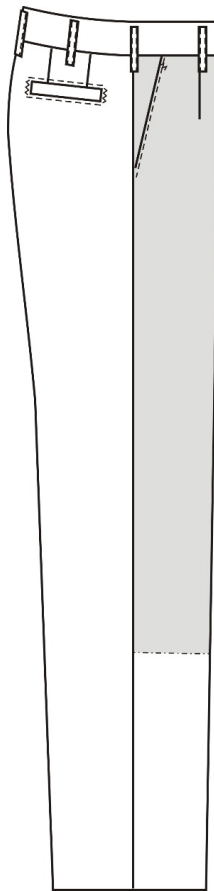
[ボタン (共通)]



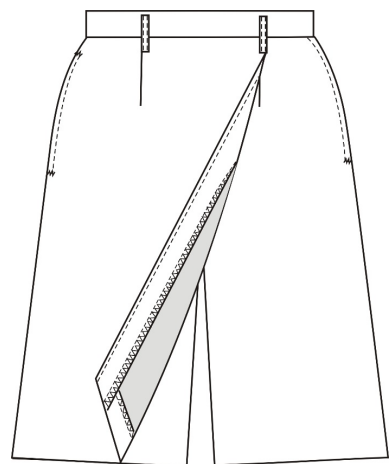
[制服上着 (女性用)]



[制服ズボン (女性用)]



[制服スカート]



2 制 帽

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1 材 料 (男性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	①表・・・ビニールレザー、黒色 ②裏・・・再生革、シボ付き、黒色
あごひも	黒色の合成皮革製、幅12mm
びん革	デラ・クール使用、幅4cm、片折り玉縁飾りミシン縫いとする。
前立ばね	幅3cmポリエチレン板に、ら線状バネを縫い付ける。
帽章	黒ラシャ生地の8枚葉金モール刺繍で、金属消防章(銀色)を抱擁する。
耳釦	真鍮製、金色
天張り	硬質ビニールに#19番銅線を2本入れる。
ハト目	黒色のもの
腰枠	ポリエチレン板、幅5cm、厚さ幅1.5mm
周章	消防吏員服制準則のとおりとする。

(女性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	円形つば型
腰部	表生地使用
帽章	黒ラシャ生地の8枚葉金モール刺繍で、金属消防章(銀色)を抱擁する。
周章	周章は入れない
型式	ハイバック型

2 縫 製

(男性用)

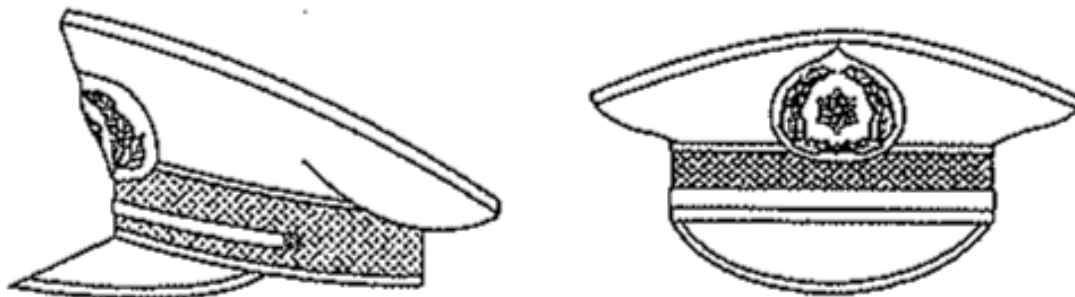
天井拵え	表生地を楕円形に裁ち、裏生地も楕円形に裁ち、ネーム入れの付いたビニールフィルム（汗止め用）と縫い合わせる。
襠縫	①表生地を前襠2枚、後襠2枚に裁ち、各先端を後片倒し縫いで止め、輪状とする。 ②各縫い代は5mm以上とする。 ③片方に2個ずつのハト目穴を施す。
腰拵	腰の両端を片倒して縫い合わせ、輪状とし、下端玉縁をつくる。
天まとめ	①天井布と襠布との各先端とを縫い合わせる。 ②縫い合わせた上をバイアスで包み縫いをする。 ③次に腰の上端と襠の下端を縫い合わせバイアスで包み縫いをする。 ④各縫い代は、5mm以上とする。
腰拵拵え	①ポリエチレン板で各サイズに合せ、両端を合わせ輪状に止める。 ②腰中央部（全面）に前立用バネを固定する。
仕上げ	①腰拵を腰布内部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシンにて縫製する。 ②全面中央に底を付け、内側にびん革を縫い付け、後部重ね目はハトで止める。 ③黒色斜子べり、金蛇腹等により周章を縫い付ける。 ④前面中央部に前章を縫い付ける。 ⑤あごひもを耳釦で止め裏側に通して耳釦の割足を内部へ折り返す。 ⑥びん革を内側へ折り返し仕上げる。 ⑦厚紙の仮拵を入れる。

(女性用)

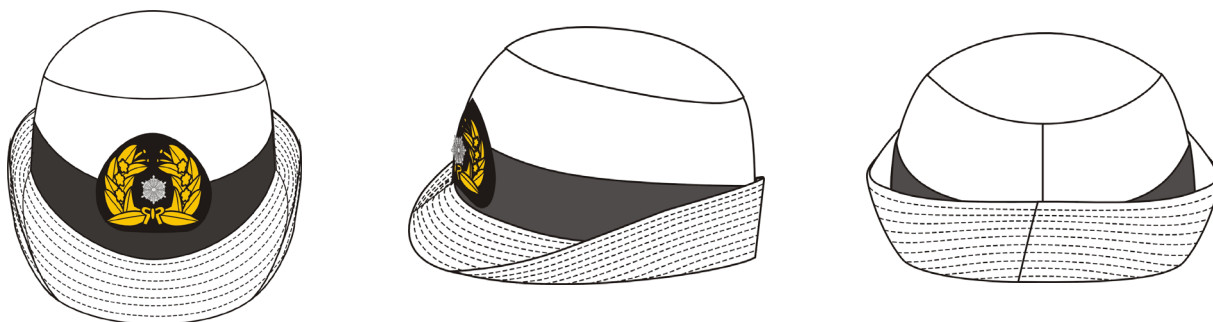
天井部	天井分にサイズ・氏名を明記できる名札入れを設ける。
外周部	帽子の周囲に黒色のリボンを巻くものとする。

<参考図>

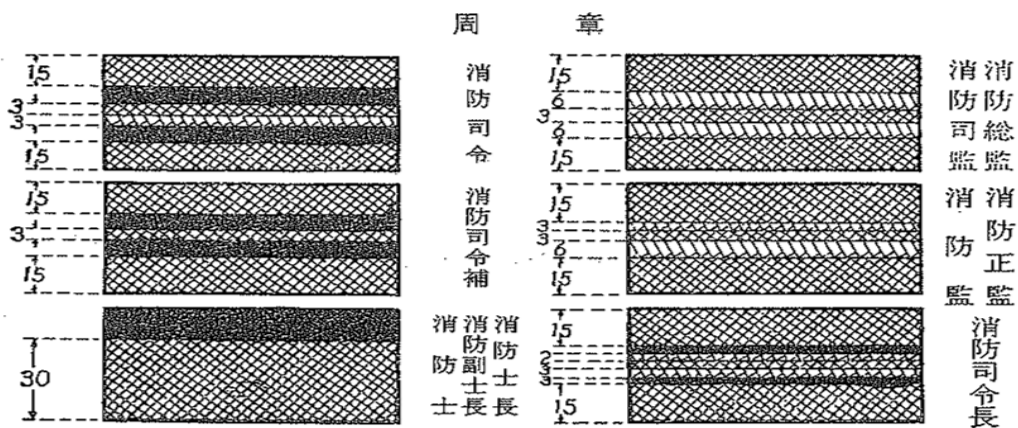
[制帽 (男性用)]



[制帽 (女性用)]



[き章・周章]



3 ネクタイ

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. ネクタイ（制服用）

区 分	規 格 等
製 式	裏付棒ネクタイとする。
裁 断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形 状	(1) 長さ 143cm (2) 前先巾 9cm (3) 後先巾 4cm
素 材	ポリエステル 100%
色	紺地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

2. ネクタイ（盛夏服用）

区 分	規 格 等
製 式	裏付棒ネクタイとする。
裁 断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形 状	(1) 長さ 143cm (2) 前先巾 9cm (3) 後先巾 4cm
素 材	ポリエステル 100%
色	青地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

<参考图>



4 ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 制服用ベルト

区分	規格等
種別	ナイロンベルト
色	濃紺（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

2. 盛夏服用ベルト

区分	規格等
種別	ナイロンベルト
色	青（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

5 活動服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 品名、品番

<冬活動服>

[上着] (株) イマジョー製 TX9000VR

[ズボン] (株) イマジョー製 TX9001DR

<夏活動服>

[上着] (株) イマジョー製 TX9100VR

[ズボン] (株) イマジョー製 TX9101DR

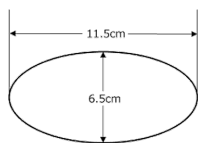
2. その他追加仕様

<上着>

ア. 左胸雨蓋上部に楷書体、金茶色で上段に西部消防局、下段に個人名(姓のみ)を刺繍する。

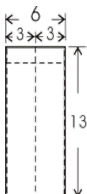
イ. 右袖肩付けより8cm下に指定型のワッペン台座<面ファスナー/ループ面>を縫い付ける。

<右図>



ウ. 左袖肩付けより8cm下に長さ13cm、幅6cmの2本入りペン差し取り付け。

<右図>



エ. 背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビーにて圧着プリントする。

<W330mm×H79mm>

鳥取県西部消防局
TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

<ズボン>

ア. 裾仕上げは靴擦れ付きとしミンタタキ縫いにて仕上げる。

3. 階級章台 胸部右のポケットブタ付根上部中央部1cmの位置にタテ2.5cm、ヨコ4.0cmの上着と同色のマジックにて四方を縫い付けること。

4.サイズ表 (単位 : cm)

<上着>

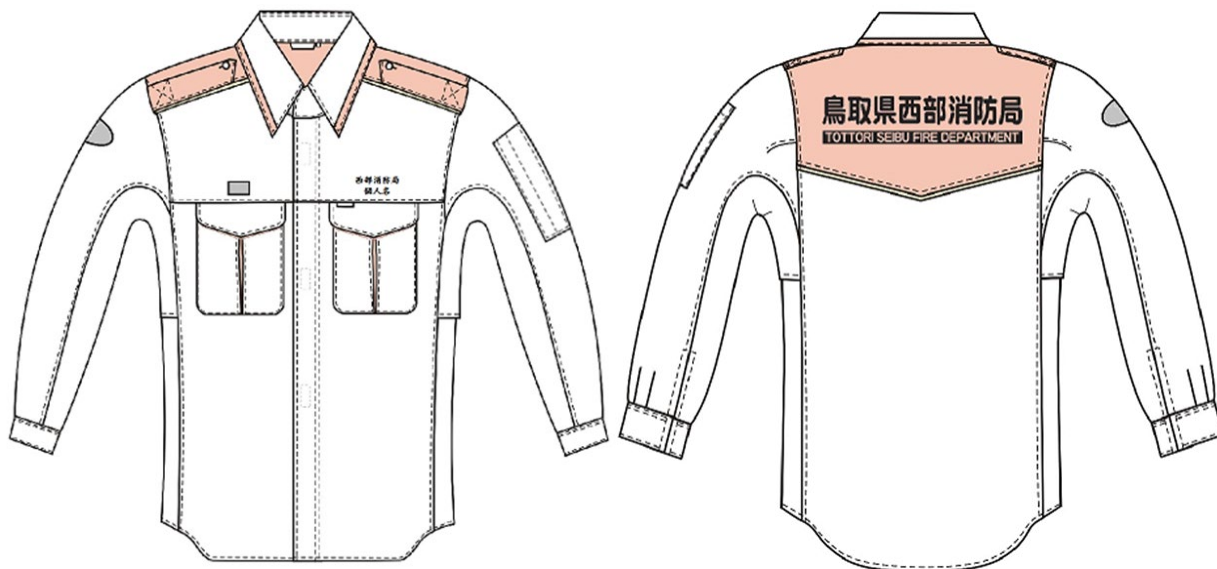
サイズ	胸囲	着丈	肩巾	衿丈	ネック
AS	100	73	44	75	39
AM	105	75	46	78	40
AL	110	77	48	81	41
ALL	115	79	50	84	43
A3L	1120	81	52	87	45
BS	110	73	48	75	43
BM	115	75	50	78	45
BL	120	77	52	81	47
BLL	125	79	54	84	49
B3L	130	81	56	87	51

<ズボン>

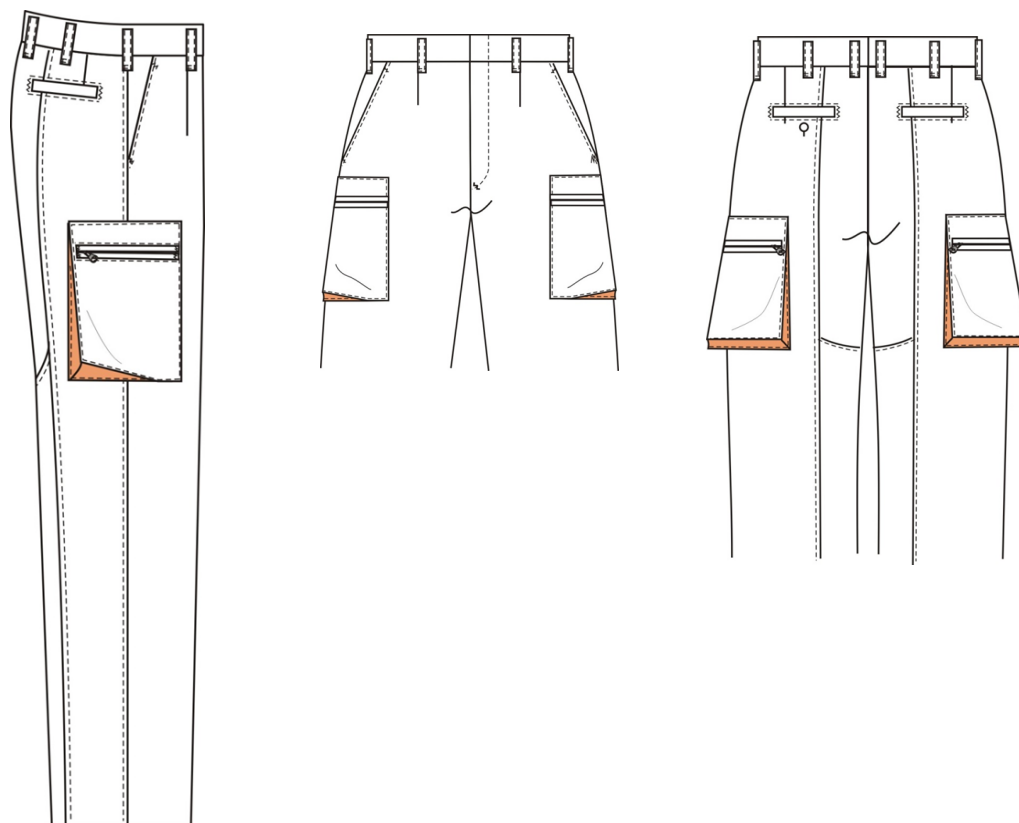
サイズ	ウエスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B00	82	
B0	85	
B1	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

<参考図>

[活動服（夏冬共通）]



[活動服ズボン（夏冬共通）]



6 活動服用ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

区 分	要 領
制式	ナイロン製2穴止め、金具は金属製とする。（2本ピン止め、はと目穴5個、取外し式バックル、幅38mm、長さ120cm）
色	紺色・活動服の色調に準じたもの。

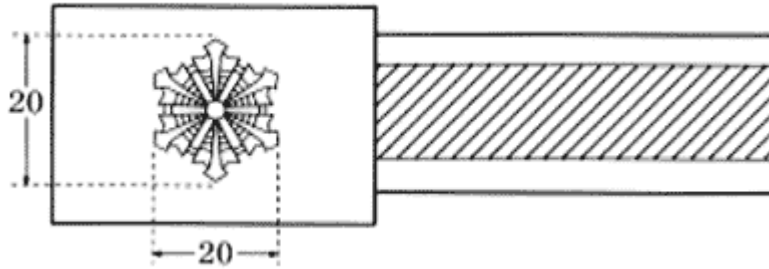
7 救急服用ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

区分	要領
製式	白の合成皮革とし、前金の中央には消防章を付け、色は銀色とする。
形状及び寸法	図のとおりとし、図中斜線部分に白の反射テープをつける。

<参考図>

[救急服用ベルト]



8 雨衣

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 材 料

区 分		仕 様 (規格)
主 材 料	表地（防水布） （別紙1） 指定色：マスカット。ただし、フードは、透明色とする。	上衣 前身頃上部、前身頃下部、後身頃、衿表裏、フード、衿フード収納カバー、袖口絞り布、身返し、持ち出し表裏、ポケット袋
		ズボン 身頃左右、裾水除け布
	裏地（メッシュ） ポリエステル100%	前後身頃の裏面、袖部、下衣前後身頃の裏面
	収納袋生地	本体
副 材 料	ドット釦 プラスチック製 ST-5	径 12mm 前立て6組、衿腰3組、下衣裾左右2個
	YKK NO.4 コイルファスナー	M-64 L-66 LL-68 EF-70 4L-75 5L-77 (cm) 前立て1本
	マジックテープ	20mm 袖口（枚 3cm 又 12cm） ポケット口（枚、又 8cm）
	コードロック 黒	フード2個
	3ミリナイロン紐	フード、収納袋
	20ミリ幅エステルタック平ゴム	袖口、7cm×2個
	丸ゴム 黒	下衣ウエスト
	洗濯絵表示ネーム	2枚
	衿ネーム	2枚
	サイズシール	2枚
	塩化ビニール袋	1枚
	インサートラベル	1枚
糸 ポリエステル	本縫い	

2. 構造の概要

形 式	縫い目裏防水要所に目張りテープを溶着する。半コート、長ズボンの上下式とする。	
上衣（全般図1参照）	衿	立衿式フード収納型とする。衿先端部には、本体身頃前端と連結して、前立てファスナーを縫着し、その上に持ち出しを縫着しドット釦にて留められるものとする。
	前面	半コート式とし、別布にて持ち出しを設け前立に5個、衿に1個のドット釦とファスナーの併用式とする。前身頃上部は袖と一体式とし、腰部にて切り替えしを持ち、前身頃下部にて斜めに雨蓋式ポケットを要するものとする。

	袖	前身頃上部と一体式とし、後身頃とはラグラン袖式とする。袖口には、ゴムを内包し、スーピーを付けマジックテープにて絞られるようにするものとする。
	背	後身頃はラグラン袖式の一枚裁ちとする。
ズボン (全般図 2参照)	腰	腰部は、三折りとし、3cmのゴムを内包したものとする。
	裾	裾脇下部にファスナーを縫着し、水除け布をファスナーの上に付けるものとする。 袖口は、1.5cmの三巻き縫いとし、丸ゴムを内包させたものとする。

3. 縫製 (上着)

区 分	仕 様 (規格)
衿	立衿式とし、表裏二枚を合わせ、衿腰後部にフードを縫着し衿と同じ大きさのフードカバーを付け、衿とドット釦で留められるものとする。
前身頃	半コート式とし、別布にて持ち出しを設け前立に5個、衿に1個のドット釦とファスナーの併用式とする。前身頃上部は袖と一体式とし、腰部にて切り替えしを持ち、前身頃下部にて斜めに雨蓋式ポケットを要するものとする。
腰ポケット	前身頃下部に斜めに切り込みを付け上布は5cmの返しステッチをし、雨蓋とする。ポケット袋は共布を上布5cmステッチに挟み込み手出しを設けるものとする。袋の裏面はメッシュ地とし手出しのところにマジックテープを縫着し、留められるものとする。
後身頃	一枚裁ちのラグラン袖式とし、衿は2.5cmの三巻き縫いとする。 後身頃上部には、別紙のとおり指定色紺色反射文字にて熱転写シート印刷をするものとする。
袖	前身頃上部と一体式とし、後身頃とはラグラン袖式とする。 袖口には、ゴムを内包し、スーピーを付けマジックテープにて、絞られるようにする。裏地は袖口に挟み込む。
脇継ぎ	前身頃、後身頃の脇部と袖下を縫合し、更に樹脂面より樹脂テープにて溶着する。
裾	2.5cmの三巻き縫いとする。裏地は裾より3.5cm上部に三巻き縫いとする。
フード	共地で二枚剥ぎとし、前端部は2cmの三巻き縫いとし、紐を通しその先端部にコードロックを付け絞られるようにする。 本体は衿に収納できるものとする。

4. 縫製 (ズボン)

区 分	仕 様 (規格)
腰 部	腰部は3cmの三折り縫いとし、3cmの平ゴムを内包する。
裾	裾外側にファスナーを縫着し、水除け布をファスナーの上に縫着させるものとする。 裾は1.5cmの三巻き縫いとし、丸ゴムを内包させる。 裏地は裾ファスナー上部までの半メッシュとする。

5. バックプリント

背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビーにて圧着プリントする。

<W330mm×H79mm> 文字：丸ゴシック（太文字）※上段と下段、文字の長さを揃えること。

鳥取県西部消防局

TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

[別紙 1]

(1) 生地規格

項目	規格	試験方法
品名・品番	ナイロン合成樹脂コーティング 東レ・イントラント# SC26	
原料混紡率	ナイロン 100%	JIS L 1030
加工方法	防水透湿合成樹脂コーティング	
質量 g/m ²	80~95	JIS L 1096
密度	タテ 115 以上	JIS L 1096
本/インチ	ヨコ 85 以上	
収縮率	タテ 3.0 以内	JIS L 1042
%	ヨコ 3.0 以内	
引張強力	タテ 60 以上	JIS L 1096 ストリップ法
Kgf/5cm 間	ヨコ 40 以上	
引裂強力	タテ 1100 以上	JIS L 1096 ペンジユラム法
gf	ヨコ 800 以上	
耐水度	初期 1.5 以上	JIS L 1092
kg/cm ²	洗濯 10 回後 1.0 以上	
撥水度	洗濯 10 回後 80 以上	JIS L 1092
透湿度	4000 以上	JIS Z 0208
g/m ² /24 時間		
染色堅牢度	耐光 4 級以上	JIS L 0842
	洗濯 4 級以上	JIS L 0844A-2
	摩擦 4 級以上	JIS L 0849 II 形
	汗 4 級以上	JIS L 0848A 法
色 相	提示見本とおり	

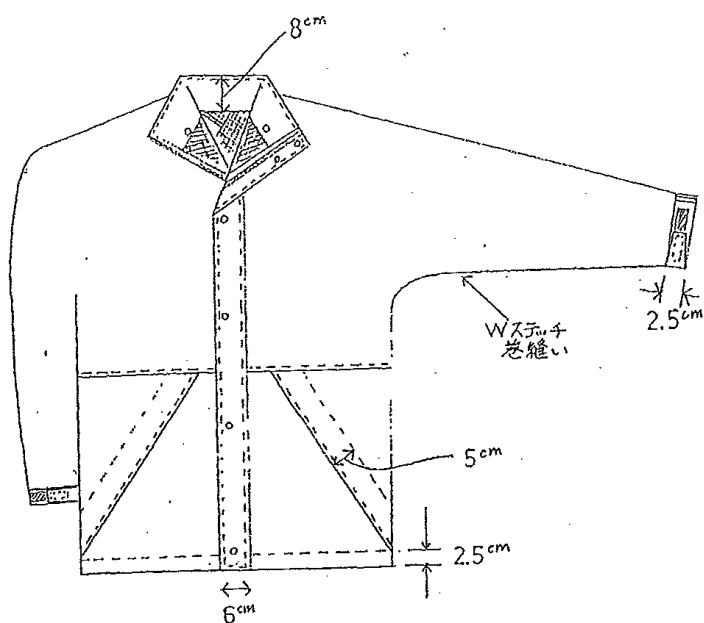
(2) プリント規格

試験項目		規格	試験方法
耐洗濯性	外 観	良	JIS 0217 103 法 5 回 吊干し
	変退色	4 級以上	
洗濯堅牢度 (級)	変退色	4 級以上	JIS 0844 A-2 号
	汚 染	4 級以上	

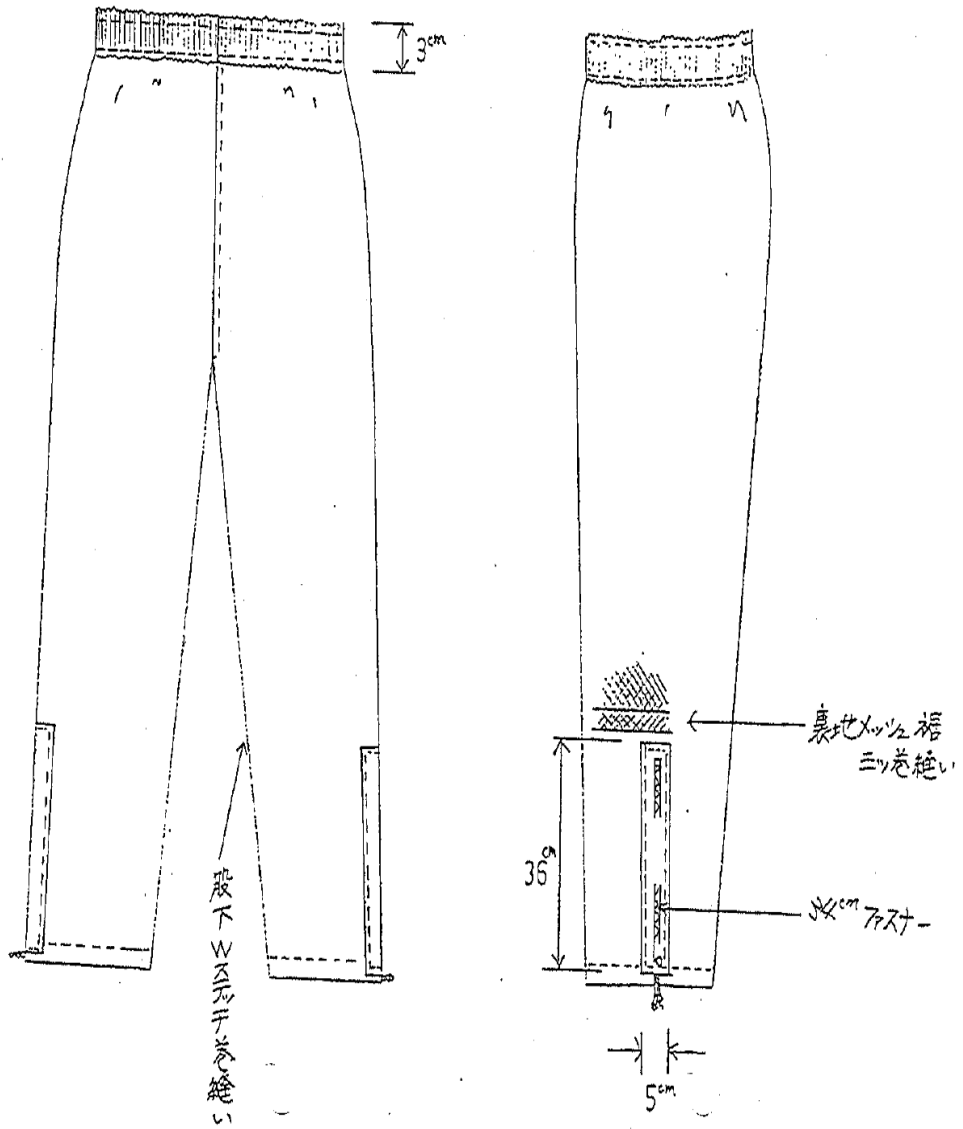
プリント方法	熱転写シート印刷
プリント色	指定色 (紺色) 反射
プリント位置・サイズ	後身頃上部 縦 35mm×横 155mm 以内 縦 50mm×横 310mm 以内
転写条件	<p>① 空押し温度 約 170℃ 圧力 250g/cm² 時間 約 5 秒</p> <p>② 転写温度 約 170℃ 圧力 250g/cm² 時間 約 15 秒</p> <p>①の条件で、まず生地に対し空押し、②の条件で転写し、冷却後ペーパーを剥がす。 このペーパーを裏返し、転写面に合わせ②の転写条件で再転写する。</p>
注 意	熱転写による生地のしわなど、外観がそこなわれないようにすること。

<参考図>

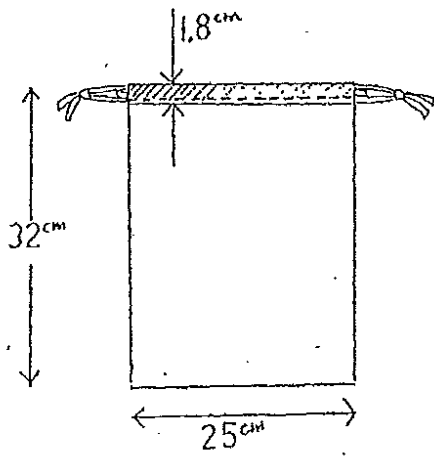
[上着]



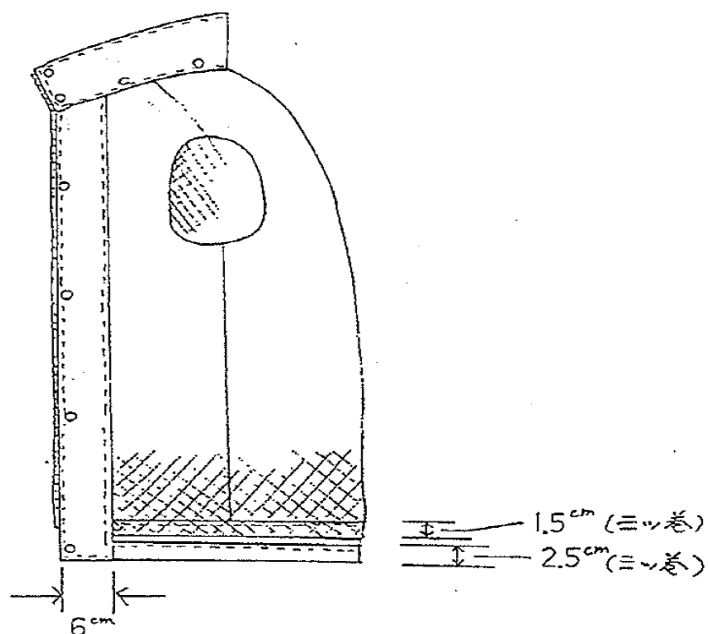
[ズボン]



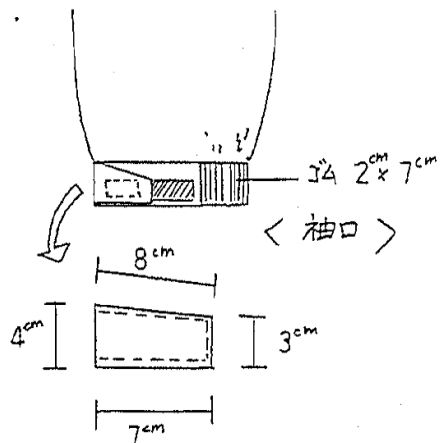
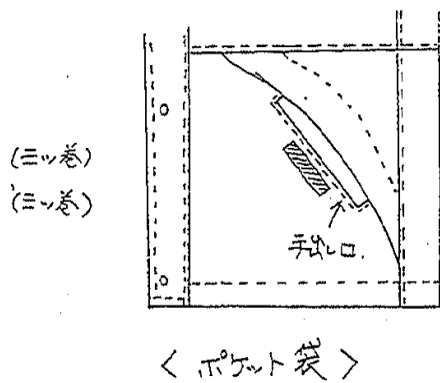
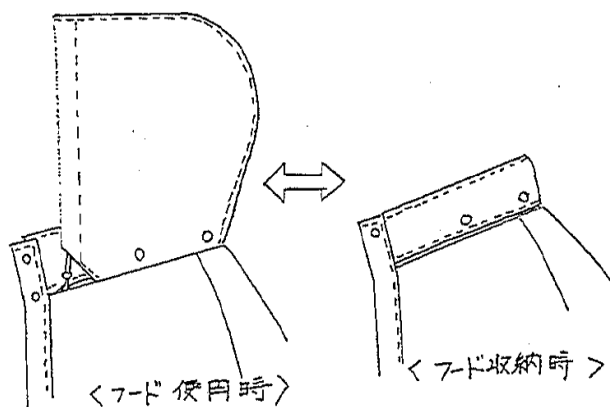
[袋]



[上着裏面]



[フード・ポケット]



9 ブルゾン（消防防寒衣）

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 材 料

区 分	仕 様（規格）	
表 地	規格	東レ KU2467 ヘリンボン
	品質	ポリエステル 100%
	色	C/# K5（濃紺）
	糸番	経 SD75dt/36 緯 B150dt/72
裏 地	T42653 C/# N-1	
袋 地	裏地を使用すること。	

2. 型 式

ジャンパー型、前ファスナー式、ドット釦止め、フード付、裾ゴム入り両腰片玉緑ポケット雨ブタ付（別図のとおり）

3. 条 件

区 分	仕 様（規格）
針 数	3cm 間で地縫は 10 針以上、飾りは 11 針以上、オーバーロックは 8 針以上とすること。
ファスナー・ドット釦・マジックテープ・ゴム	全て良質のものを使用すること。
裁 縫	糸調子は、上下糸とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。 縫糸は、テロン糸を使用すること。

4. 縫製要領

区 分	仕 様（規格）
衿	①二重衿とし、内衿はスタンドカラーとし、内側はジャージを付ける。 ②外側の衿部裏にフードを収納し、ファスナーで開閉する。 ③衿の付根に指定の衿吊りを縫い込む。
ポケット	①両腰部のポケットは片玉緑とし、雨ブタを付けドット釦で止める。 ②ポケット内部は指定のフリースを付け保温性を高める。
内ポケット	上前身頃裏にファスナー式ポケットを設け、さらに内側に携帯電話入れポケットを設け、仕切りを入れる。
身頃	①前立て内側は、ファスナー式とし、表側はドット釦（8 個）で止める。 ②両肩に肩章を付け、先をドット釦で止める。 ③裾は、ゴム入りとする。
袖	二枚袖とする。

袖口	カフス部は、ゴム入りシャーリングとしマジックテープで調整する。
裏仕用	総裏とし、胴裏・袖裏・ポケット裏に指定のフリースを使用する。
サイズ	衿下中央にはさみ込む。
品質表示	脇部下部にはさみ込む。
片布	上前身返し裏に縫い付ける。
バックプリント	別図指示のとおりホワイト反射（LF-7000）にて反射圧着プリントとすること。文字は丸ゴシック体とする。 なお、詳細については、契約後受注者と別途協議とする。
ネーム	左胸指定の位置に、2.5cm×4.0cm のマジックテープ製のネーム台を縫付け、別途黄金色の糸で刺繍した同じ大きさのネームを取り付けること。

[別図]

<W330mm×H79mm>

※文字：丸ゴシック（太文字）

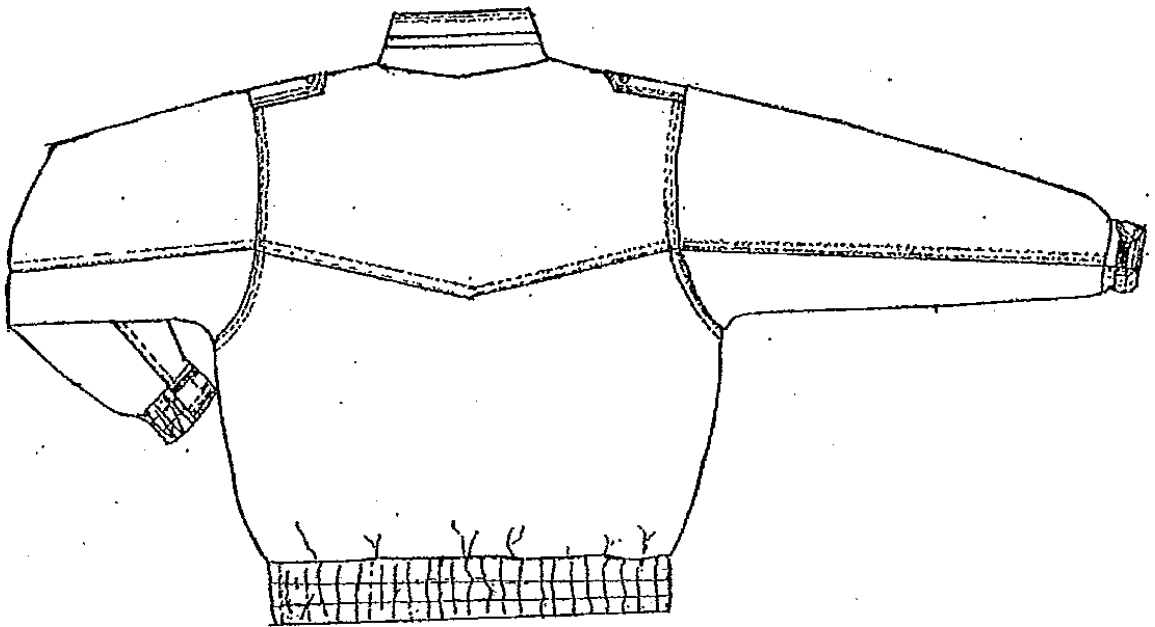
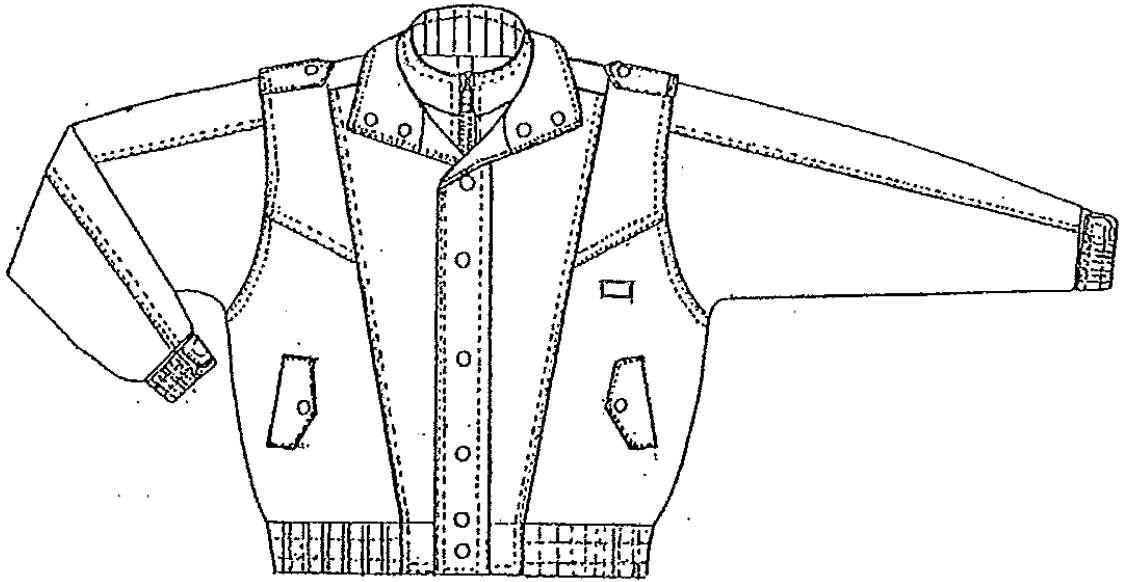
※上段と下段、文字の長さを揃えること。

鳥取県西部消防局
TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

5. 裁断及び縫製等

- (1) 裁断及び縫製仕上げにあたり、洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずること。
- (2) 針数は地縫い、飾り縫いとも、1cm 間 4 針以上とすること。
- (3) ドット釦は、15mm を使用すること。
- (4) 縫い糸は、表縫い糸（テトロン糸 50 番）地縫（テトロン糸 50 番）とすること。
- (5) 裁断各部とも、逆毛裁、衿以外の箇所の斜裁は、認めない。
- (6) 仕上げは、糸くずを取り丁寧にプレスすること。
- (7) ミシンの調子は、上糸、下糸ともツレ、タルミのないこと。

<参考图>

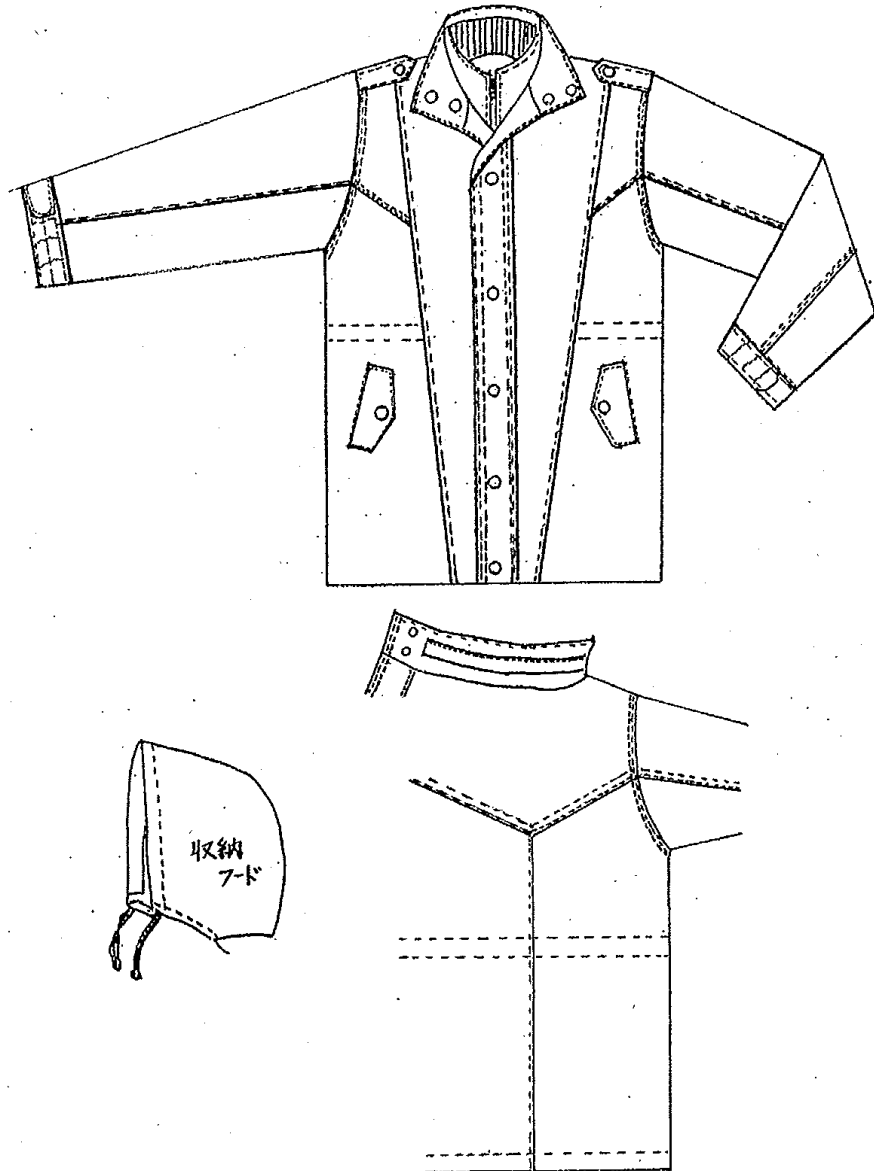


10 コート型ブルゾン（制服用防寒衣）

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

- | | |
|------------|--|
| 1. 材 料 | ブルゾン型防寒衣の仕様と同じ。 |
| 2. 型 式 | ハーフコート型、前ファスナー式、ドット釦止め、フード付、腰部スピンドル紐入り、両腰片玉縁ポケット雨ブタ付（別図のとおり） |
| 3. 条 件 | 防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。
ただし、ネーム、ネーム台及びバックプリントは、不要とする。 |
| 4. 縫製要領 | 防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。 |
| 5. 裁断及び縫製等 | 防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。 |

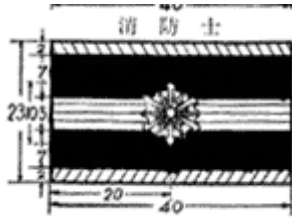
<参考図>



1 1 階級章

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 製式 マジックテープ付のアドバンス式とする。



令和4年12月20日

入 札 書（第 回）

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

鳥取県西部広域行政管理組合財務規則（平成8年鳥取県西部広域行政管理組合規則第3号）第2条において準用する米子市契約規則（平成17年米子市規則第43号）、鳥取県西部広域行政管理組合会計規則（令和3年鳥取県西部広域行政管理組合規則第7号）第2条において準用する米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知の上、次のとおり入札します。

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

件 名	消防吏員被服の納入（その3）
納 入 場 所	鳥取県西部広域行政管理組合 消防局
入 札 金 額	金 円

注意

- 1 入札書は、封書にし、封筒表面に「入札書在中」と表示し、裏面に件名、住所、商号又は名称及び代表者氏名を記載すること。
- 2 入札金額は、消費税及び地方消費税を含めない金額とし、算用数字を使用してください。なお、入札金額の訂正はできません。

年 月 日

辞 退 届

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

下記の入札物件について、第 回目の入札を辞退します。

記

- 1 件 名 消防吏員被服の納入（その3）
- 2 入 札 日 令和4年12月20日
- 3 辞 退 理 由

年 月 日

入札物品確認書

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

住 所

提出者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記の入札物件について、次のとおり確認書を提出します。

記

- 1 件 名 消防吏員被服の納入（その3）
- 2 入 札 日 令和4年12月20日
- 3 入 札 物 品

※ 該当する項目の□をチェックしてください。

仕様書に定めるもので入札に参加

仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加(組合の認定が必要)

(仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加する場合の認定結果等)

認定結果は、令和4年12月9日(金)午後4時までに電話又はファクシミリにより回答いたします。

なお、不適合となった場合は、令和4年12月12日(月)正午までに同等品の再提出を行い、再認定を受けることを認めることとします。

○郵便入札封筒貼付用様式（表面）

※一点鎖線部分を切り取り、長3封筒に貼付してご使用ください。

配達日
指定郵便

配達指定日

令和4年12月19日（月曜日）

入
札
書
在
中

〒689-3403

鳥取県米子市淀江町西原1129番地1

鳥取県西部広域行政管理組合

事務局総務課 入札財政担当 行

○郵便入札封筒貼付用様式（裏面）

《入札書の郵送にあたっての注意事項》

- 1 当組合が入札案件ごとに定める配達日を必ず郵便局で指定してください。
- 2 差出日と配達指定日には、あいだ2日間が必要となります。
- 3 「特定記録郵便」「一般書留」「簡易書留」のいずれかの方法で郵送してください。
- 4 入札書1件につき、封書1通を使用してください。

入 札 番 号	広消30
案 件 名	消防吏員被服の納入（その3）
差出人 住所 商号又は名称 代表者の職氏名	※

※ 必ず記入してください。記入のないものは無効となります。